

第7回 高度医療評価会議 議事次第

日 時：平成21年5月12日(火) 10:00～12:00

場 所：帝国ホテル 本館2階鶴の間

議 題

- 1 新規申請技術（3月受付分）の評価結果等について
- 2 新規申請技術（4月受付分）の今後の評価予定について
- 3 既存技術の変更届けについて
- 4 追加協力医療機関（3月、4月受付分）について
- 5 高度医療に係る健康危険情報について
- 6 その他

〔配付資料〕

議事次第

座席表

開催要綱

構成員名簿

- 資料1-1 新規申請技術（3月受付分）の評価結果
- 資料1-2 高度医療評価表（番号008）
- 資料2 新規申請技術（4月受付分）受付状況
- 資料3 既存技術変更届等（5月受付分）
- 資料4 追加協力医療機関（3月、4月受付分）
- 資料5 高度医療に係る健康危険情報について

参考資料1 高度医療評価制度の概要

参考資料2 第3項先進医療技術及び医療機関一覧

高度医療評価会議 開催要綱

1. 目的

高度医療評価制度の創設に伴い、薬事法の承認等が得られていない医薬品・医療機器の使用を伴う先進的な医療技術について、一定の要件の下に行われるものについては高度医療として認められることとなったことから、本評価会議において、高度医療に係る要件の適合性の評価・確認を行うことを目的とする。

2. 検討事項

- (1) 高度医療に係る申請のあった医療機関の評価
- (2) 高度医療に係る申請のあった医療技術の評価
- (3) 高度医療の実施状況の確認等
- (4) その他 等

3. 評価会議の構成等

- (1) 評価会議は、各分野に係る有識者により構成する。
- (2) 評価会議は、構成員のうち1人を座長として選出する。
- (3) 評価会議の座長は、必要に応じ、検討に必要な有識者等の参加者を求めることができる。

4. 運営等

- (1) 評価会議は、知的財産・個人情報等に係る事項を除き、原則公開するとともに、議事録を作成し、公表する。この他、運営に関する事項は、別に定める運営要項によるものとする。
- (2) 評価会議は、医政局長が主催し、その庶務は医政局研究開発振興課において行う。必要に応じて、医薬食品局及び保険局の協力を得る。

新規申請技術（3月受付分）の評価結果

整理 番号	高度医療名	適応症(審査後)	承認状況	医薬品・医療機器情報	実施又は調整医療機関	審査担当構成員				総評
						主担当	副担当	副担当	技術委員	
008	重症虚血性心疾患に対する低出力体外 衝撃波治療法	重症虚血性心疾患（カテーテルインターベンシ ョンや冠動脈バイパス術不適応）	未承認 医療機器	ストルツメディカル ジャパン	東北大学病院	山本	猿田	田島		条件付 き適

高度医療 評価表 (番号 008)

評価委員 主担当：山本 _____
副担当：猿田 副担当：田島 技術委員： _____

高度医療の名称	重症虚血性心疾患に対する低出力体外衝撃波治療法
申請医療機関の名称	東北大学病院 (協力医療機関は括弧で記載。)
医療技術の概要	薬物抵抗性の重症虚血性心疾患患者(カテーテルインターベンションや冠動脈バイパス術の非適応患者)に対して、心筋の虚血領域に体外より低出力衝撃波を照射することにより、心筋血流の改善・症状の改善を期待する治療。

【技術の評価】 評価者：猿田 _____

1. 安全性	適 ・ 不適
2. 有用性	適 ・ 不適
3. 成熟度	適 ・ 不適
4. 期待される適応症、効能及び効果	適 ・ 不適
コメント欄：(「不適」とした場合には必ず記載ください。)	
実施条件欄：(修正すれば適としてよいものは、その内容を記載ください。)	

【実施体制の評価】 評価者：山本 _____

5. 実施責任医師等の体制	適 ・ 不適
6. 緊急時の対応が可能な体制	適 ・ 不適
7. 医療安全対策に必要な体制	適 ・ 不適
8. 臨床研究に関する倫理指針に適合する体制	適 ・ 不適
9. 医薬品・医療機器の管理体制、入手方法等	適 ・ 不適
コメント欄：(「不適」とした場合には必ず記載ください。) H17年に倫理審査委員会の承認を得ているため、H20年7月改訂告示以前の「臨床研究に関する倫理指針」への適合性を検討し、「適」と評価した。	
実施条件欄：(修正すれば適としてよいものは、その内容を記載ください。)	

【倫理的観点からの評価】 評価者：田島

10. 同意に係る手続き、同意文書	適 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 不適
11. 補償内容	<input checked="" type="checkbox"/> 適 ・ 不適
<p>コメント欄：（「不適」とした場合には必ず記載ください。） 説明文書に記入すべき必須項目に欠落がある。説明内容に分かりにくい点がある。 （患者相談等の対応が整備されているか、についても記載下さい。）</p>	
<p>実施条件欄：（修正すれば適としてよいものは、その内容を記載ください。） 説明文書の必須項目中、②、⑥、⑧～⑩、⑫及び⑬を追加または的確に記載する。 治療対象者の適格基準の4項目目について、「Class II～IV」の内容が分かるように記載する。 同意文書に補償内容の項目を追加する。</p>	

【プロトコールの評価】 評価者：山本

12. 倫理審査委員会の承認	(コメント参照)
13. 予測される安全性情報	<input checked="" type="checkbox"/> 適 ・ 不適
14. 被験者の適格基準及び選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 適 ・ 不適
15. 治療計画の内容	<input checked="" type="checkbox"/> 適 ・ 不適
16. 有効性及び安全性の評価方法	適 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 不適
17. モニタリング体制及び実施方法	適 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 不適
18. 被験者等に対して重大な事態が生じた場合の対処方法	適 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 不適
19. 試験に係る記録の取扱い及び管理・保存方法	適 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 不適
20. 患者負担の内容	<input checked="" type="checkbox"/> 適 ・ 不適
21. 起こりうる利害の衝突及び研究者等の関連組織との関わり	適 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 不適
22. 個人情報保護の方法	適 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 不適
<p>コメント欄：（「不適」とした場合には必ず記載ください。） H17年倫理審査委員会承認時の実施計画書と今回の申請書の記載に若干の齟齬がみられる。実施計画書には有効性評価項目が明記されていない。今回の申請書には明記されているが、その根拠が示されていない。実施計画書では、封筒法を用いたクロスオーバー法で予定症例数を30名としているが、申請書には研究デザインの記載がなく、予定症例数は115名（うち16名が既に実施）とされている。また、実施計画書には「補償はない」と記載されている（申請書にも「賠償責任保険による補償」と記載されているため、補償はないのかもしれない）。有効性、安全性の評価方法に関しては、クロスオーバー法での実施を踏まえた統計解析方法を含めた評価方法の記載が必要（生物統計家へのコンサルトが望ましい）。有害事象発現時の対処と補償（賠償？）に関する具体的記載も必要。データのモニタリング及び保存管理をどのように実施するのか、個人情報保護の観点も含め、具体的な記載が必要。利益相反についても記載が必要。</p>	

実施条件欄：（修正すれば適としてよいものは、その内容を記載ください。）

1. 上記「不適」項目について実施計画書の整備を行うこと。
2. 改訂された実施計画書を倫理審査委員会に提示し、承認を得ること。

【総評】（主担当の先生が御記載ください。）

総合評価	適	条件付き適	不適
予定症例数	115名	予定試験期間	H17年10月～H22年9月 末まで
実施条件：（修正すれば適となる場合は、修正内容を記載ください。） 「倫理的観点の評価」および「プロトコルの評価」の実施条件を参照のこと。			
コメント欄（不適とした場合は、その理由を必ず記載ください。） 重症虚血性心疾患患者に対する低侵襲の新規医療技術であり、これまでの検討を見る限り、一定の効果が期待される。予定症例数も多数であり、確実に実施できれば有効性・安全性の評価を十分行える可能性が高いため、質の高い研究成果を得るために、実施計画書の整備を十分に行って頂きたい。			

新規申請技術（4月受付分）受付状況

整理番号	高度医療名	適応症	承認状況	申請医療機関
009-1	進行性膀胱癌に対する腫瘍特異的ペプチドワクチン療法	治癒切除不能の再発進行性膀胱癌	未承認 医薬品	岩手医科大学附属病院
009-2	再発予防を目的とした膀胱癌に対する腫瘍特異的ペプチドワクチン療法	非筋層浸潤性膀胱癌		
010	経カテーテル大動脈弁留置術	重症大動脈弁狭窄症	未承認 医療機器	大阪大学医学部附属病院
011	大腸癌に対するペプチドワクチン療法	切除不能大腸癌	未承認 医薬品	山口大学医学部附属病院
012	大腸癌の術後再発阻止を目的としたワクチン療法	stage III大腸癌根治術後患者	未承認 医薬品	近畿大学医学部附属病院
013-1	進行食道癌に対するペプチドワクチン療法	高度進行食道癌	未承認 医薬品	山梨大学医学部附属病院
013-2	食道癌の放射線化学療法後、再発予防を目的としたペプチドワクチン療法	初発食道癌で、放射線化学療法後肉眼的CRが確認された患者		
014-1	食道癌術後（術前治療なし）再発阻止を目的としたワクチン療法	（術前治療無し）食道癌根治術後、リンパ節転移陽性の食道癌	未承認 医薬品	近畿大学医学部附属病院
014-2	食道癌術後（術前治療あり）再発阻止を目的としたワクチン療法	（術前治療有り）食道癌根治術後、リンパ節転移陽性の食道癌		

既存技術の変更届等（5月受付分）

整理番号	高度医療名	適応症(審査後)	承認状況	申請医療機関	変更内容(概要)
	乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	乳がん	適応外医薬品	聖路加国際病院	乳がんへの適用については、評価対象である未承認医薬品の公知申請がなされることに伴い、薬事承認までの間、安全性情報に限定したモニタリングを継続する（悪性黒色腫についてはこれまで同様、有効性と安全性の情報についてモニタリングを継続する）。

追加協力医療機関（3・4月受付分）

（3月受付分）

高度医療名	適応症	承認状況	申請医療機関	追加協力医療機関
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	悪性黒色腫	適応外 医薬品	信州大学医学部附属医病院	大分大学医学部附属病院
				自治医科大学附属病院
				千葉大学医学部附属病院
腫瘍性骨病変及び骨粗しょう症に伴う骨脆弱性病変に対する 経皮的骨形成術	腫瘍性骨病変 骨粗しょう症	適応外 医療機器	金沢大学医学部附属病院	国立病院機構仙台医療センター

（4月受付分）

高度医療名	適応症	承認状況	申請医療機関	追加協力医療機関
早期胃癌に対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	早期胃癌	適応外 医薬品	慶應義塾大学病院	東京慈恵会医科大学附属病院

高度医療別添様式第6号

高度医療に係る健康危険情報について

当該技術に係る健康危険情報を把握した場合、各々記載して下さい。

高度医療の名称	肺悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法
保険医療機関名	福岡大学病院
健康危険情報 (国民の生命、健康の安全に直接係わると考えられる内容と理由を簡潔に記入)	本事例は片肺で、腫瘍径4cm程度あり、高度医療の適応ではなかった。予測合併症として、穿刺および焼灼後の腫瘍脱落による気胸と局所の感染等が考えられた。本人の強い希望もあり、同様の手技を用いて自由診療で施行した。しかし、腫瘍部の壊死と感染をきっかけに術後呼吸循環不全となり、不幸な転機をとった。
情報源 (研究者名、学会発表、雑誌等の詳細について記述)	福岡大学医学部放射線医学教室 助教 清水健太郎 福岡大学病院放射線部 講師 東原 秀行
参考文献(※)	FDA 注意喚起 (2007.12.11) 映像情報 Medical 2004.6 635-640 最先端の IVR 肺悪性腫瘍のラジオ波治療
情報に関する評価・コメント	片肺の症例に関しては、呼吸機能が両肺患者に比し低下しており、術後に重篤な合併症を引き起こした際に回復しない可能性が高いと思われる。(本事例は家族の強い希望もあり、治療を施行した。)
連絡先 (氏名及び電話番号・FAX番号・Eメール)	████████████████████ ████████████████████ ████████████████████

(注1) ※については、当該健康危険情報を理解するために参考となる文献があれば、その文献名等を記入し、本様式に当該資料を添付して下さい。

(注2) 高度医療に係る健康危険情報を把握した場合は、直ちに厚生労働省医政局長あて本様式により御報告下さい。なお、報告者名、施設名等は外部へ漏洩しないよう万全の配慮を致します。

高度医療評価制度の概要

1 趣旨

医学医療の高度化やこれらの医療技術を受けたいという患者のニーズ等に対応するため、薬事法の承認等が得られていない医薬品・医療機器の使用を伴う先進的な医療技術を、一定の要件の下に、「高度医療」として認め、保険診療と併用できることとし、薬事法上の承認申請等に繋がる科学的評価可能なデータ収集の迅速化を図ることが目的

2 対象となる医療技術

- (1) 薬事法上の承認又は認証を受けていない医薬品・医療機器の使用を伴う医療技術
- (2) 薬事法上の承認又は認証を受けている医薬品・医療機器の承認内容に含まれない目的での使用(いわゆる適応外使用)を伴う医療技術

3 高度医療を実施する医療機関の体制に係る要件

- (1) 特定機能病院又は高度医療を実施するにあたり緊急時の対応、医療安全対策に必要な体制等を有する医療機関
- (2) 臨床研究に関する倫理指針などに適合した研究実施体制
- (3) 使用する医薬品・医療機器に関し、適切な入手方法・管理体制 等

4 高度医療の技術内容に係る要件

- (1) 安全性及び有効性の確保が期待できる科学的な根拠を有する医療技術(国内外の使用実績や有用性を示す文献等)
- (2) 臨床研究に関する倫理指針などへの適合
- (3) 患者及び家族への説明と同意等の倫理的な観点からの要件
- (4) 試験記録の管理体制など科学的評価可能なデータ収集に係る要件 等

5 申請手続き等

- (1) 医政局長の主催する「高度医療評価会議」にて評価
- (2) 医政局研究開発振興課が窓口(保険併用については、保険局医療課と連携)

6 高度医療を実施する医療機関の責務

- (1) 実績の公表及び報告
- (2) 重篤な有害事象・不具合等が起こった場合の対応、公表及び報告 等

7 実施後の評価等

実施状況の報告や試験計画の終了時等に確認・評価

第3項先進医療技術及び医療機関一覧

参考資料2

平成21年4月1日 現在

番号	技術名	実施医療機関名
1	内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術 (頸部良性腫瘍に係るものに限る。)	九州大学病院
		岡山大学病院
		岩手医科大学附属病院
		自治医科大学附属病院
		日本医科大学付属病院
		長崎大学医学部附属病院
2	悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	九州大学病院
		岡山大学病院
		群馬大学医学部附属病院
		東京大学医学部附属病院
		産業医科大学病院
3	腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術 (転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨折又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは臼蓋骨折に係るものに限る。)	金沢大学医学部附属病院
		関西医科大学附属 枚方病院
		群馬大学医学部附属病院
		三重大学医学部附属病院
		聖路加国際病院
		聖マリアンナ医科大学病院
		昭和大学横浜市北部病院
		九州大学病院
		鹿児島大学病院
		愛知県がんセンター 中央病院
		石川県立中央病院
		茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター
		岩手医科大学附属病院
		大阪市立大学医学部附属病院
		岡山大学病院
		癌研有明病院
		京都第一赤十字病院
		高知医療センター
		国立がんセンター 中央病院
		四国がんセンター
静岡がんセンター		
信州大学医学部附属病院		
手稲溪仁会病院		
栃木県立がんセンター		
奈良県立医科大学附属病院		
新潟県立がんセンター 新潟病院		

		旭川厚生病院
		琉球大学医学部附属病院
		徳島赤十字病院
		滋賀医科大学医学部附属病院
		神戸大学医学部附属病院
		宮崎大学医学部附属病院
		中国労災病院
		国際医療センター戸山病院
4	悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	信州大学医学部附属病院
		国立がんセンター 中央病院
		札幌医科大学附属病院
		新潟県立がんセンター 新潟病院
		熊本大学医学部附属病院
		東北大学病院
		神戸大学医学部附属病院
		産業医科大学病院
		名古屋大学医学部附属病院
		京都府立医科大学附属病院
		大阪市立大学医学部附属病院
5	乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	聖路加国際病院
		さいたま赤十字病院
		愛知県がんセンター 中央病院
		旭川医科大学病院
		岡山大学病院
		北里大学病院
		京都府立医科大学附属病院
		近畿大学医学部附属病院
		九州中央病院
		名古屋大学医学部附属病院
		鹿児島大学病院
		社会保険久留米第一病院
		新潟大学医歯学総合病院
		神奈川県立がんセンター
		大阪市立大学医学部附属病院
		大阪府立成人病センター
		大分大学医学部附属病院
		前橋赤十字病院
		九州がんセンター
		北海道大学病院
		長野赤十字病院
		昭和大学病院
		九州医療センター

	防衛医科大学校病院
	名古屋第二赤十字病院
	関東中央病院
	和歌山県立医科大学附属病院
	仙台乳腺クリニック
	NTT西日本大阪病院
	NTT東日本札幌病院
	相澤病院
	愛知医科大学病院
	朝日大学歯学部附属 村上記念病院
	飯田市立病院
	石切生喜病院
	伊藤外科 乳腺クリニック
	岩手県立中央病院
	にゅうわ会 及川病院
	大分県立病院
	大阪けいさつ病院
	大阪厚生年金病院
	大阪市立総合医療センター
	大阪赤十字病院
	大阪大学医学部附属病院
	隈病院
	大阪府済生会 千里病院
	大阪府済生会 富田林病院
	大阪労災病院
	大船中央病院
	小千谷総合病院
	尾道総合病院
	金沢大学医学部附属病院
	川口市立医療センター
	川崎医科大学附属病院
	癌研有明病院
	関西医科大学附属 枚方病院
	関西ろうさい病院
	北九州市立医療センター
	北里研究所病院
	医学研究所 北野病院
	北福島医療センター
	岐阜県立多治見病院
	岐阜大学医学部附属病院
	九州大学病院
	杏林大学医学部附属病院

	熊本市立熊本市民病院
	群馬県立がんセンター
	群馬大学医学部附属病院
	慶應義塾大学病院
	高知大学医学部附属病院
	松戸市立病院
	国立がんセンター 中央病院
	国立国際医療センター
	名古屋医療センター
	国立病院機構 函館病院
	大阪医療センター
	相模原病院
	仙台医療センター
	千葉医療センター
	東京医療センター
	西群馬病院
	福山医療センター
	横浜医療センター
	さい医院
	埼玉医科大学国際医療センター
	淀川キリスト教病院
	佐久総合病院
	札幌ことに乳腺クリニック
	札幌社会保険総合病院
	自治医科大学附属病院
	順天堂大学医学部附属 順天堂医院
	順天堂大学医学部附属 浦安病院
	順天堂大学医学部附属 練馬病院
	市立池田病院
	市立宇和島病院
	市立堺病院
	新八柱台病院
	聖マリアンナ医科大学病院
	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院
	聖隷浜松病院
	仙台市立病院
	総合上飯田第一病院
	千鳥橋病院
	千葉県がんセンター
	千葉大学医学部附属病院
	千葉労災病院
	筑波大学附属病院

	筑波メディカルセンター病院
	帝京大学医学部附属病院
	東海大学医学部附属病院
	東京慈恵会医科大学附属第三病院
	東京慈恵会医科大学附属病院
	東京女子医科大学 東医療センター
	東京女子医科大学病院
	東邦大学医療センター 大橋病院
	東邦大学医療センター 大森病院
	東邦大学医療センター 佐倉病院
	とくしまプレストケアクリニック
	栃木県立がんセンター
	鳥取大学医学部附属病院
	富山県立中央病院
	トヨタ記念病院
	都立駒込病院
	長野松代総合病院
	名古屋市立大学病院
	那覇市立病院
	西神戸医療センター
	日本医科大学付属病院
	日本赤十字社 長崎原爆病院
	日本大学医学部附属 板橋病院
	沼津市立病院
	博愛会 相良病院
	医療法人財団 博愛会病院
	橋本市民病院
	原町赤十字病院
	東札幌病院
	兵庫医科大学附属病院
	兵庫県立加古川病院
	平塚共済病院
	広島市立安佐市民病院
	広島大学病院
	福井赤十字病院
	藤田保健衛生大学病院
	船橋市立医療センター
	ふるかわクリニック
	星総合病院
	丸茂病院
	三井記念病院
	宮良クリニック

		八尾市立病院
		乳和会 やまかわクリニック
		山口県立総合医療センター
		山口大学医学部附属病院
		横浜旭中央総合病院
		横浜市立大学附属病院
		よこはま乳腺と胃腸の病院
		横浜南共済病院
		埼玉社会保険病院
		香川県立中央病院
		安城更正病院
		石川県立中央病院
		中国中央病院
		新潟市民病院
		浜松医科大学医学部附属病院
		埼玉県立がんセンター
		佐賀大学医学部附属病院
		徳島大学病院
		社会保険中京病院
		兵庫県立がんセンター
		東京医科大学病院
		福井大学医学部附属病院
		刈谷豊田総合病院
		島根大学医学部附属病院
		福井県共済会病院
6	カフェイン併用化学療法 (骨肉腫、悪性線維性組織球腫、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の骨軟部悪性腫瘍に係るものに限る。)	金沢大学附属病院
		大阪市立大学医学部附属病院
		福島県立医科大学附属病院
		宮崎大学医学部附属病院
		愛媛大学医学部附属病院
		新潟大学医歯学総合病院
7	胎児尿路・羊水腔シャント術 (プルーン・ベリー症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。)	国立循環器病センター
		筑波大学附属病院
		国立成育医療センター
8	筋過緊張に対するmuscle afferent block 治療 (ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。)	徳島大学病院
9	胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法 (肺がん(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))	岡山大学病院
		京都府立医科大学附属病院
		三重大学医学部附属病院
		国立がんセンター 中央病院
		愛知県がんセンター 中央病院

		石川県立中央病院
		茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター
		岩手医科大学附属病院
		大阪市立大学医学部附属病院
		金沢大学医学部附属病院
		関西医科大学附属 枚方病院
		癌研有明病院
		京都第一赤十字病院
		熊本大学医学部附属病院
		群馬大学医学部附属病院
		四国がんセンター
		手稲溪仁会病院
		栃木県立がんセンター
		敬愛会 中頭病院
		奈良県立医科大学附属病院
		防衛医科大学校病院
		旭川厚生病院
		北海道大学病院
		琉球大学医学部附属病院
		聖マリアーナ医科大学病院
		兵庫県立がんセンター
		福岡大学病院
10	胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法 (乳がん(従来の外科的治療法の実施が困難なもの 又は外科的治療法の実施により根治性が期待できな いものに限る。))	国立がんセンター 中央病院
11	腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法 (腎悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難な もの又は外科的治療法の実施により根治性が期待で きないものに限る。))	岡山大学病院
		京都府立医科大学附属病院
		三重大学医学部附属病院
		愛知県がんセンター 中央病院
		茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター
		岩手医科大学附属病院
		大阪市立大学医学部附属病院
		金沢大学医学部附属病院
		関西医科大学附属 枚方病院
		癌研有明病院
		京都第一赤十字病院
		熊本大学医学部附属病院
		群馬大学医学部附属病院
		国立がんセンター 中央病院
		敬愛会 中頭病院
		栃木県立がんセンター

		旭川厚生病院
		北海道大学病院
		防衛医科大学校病院
12	内視鏡下甲状腺がん手術(手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。)	筑波大学附属病院
13	骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法(転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なものに限る。)	国立がんセンター 中央病院
		群馬大学医学部附属病院
		大阪大学医学部附属病院
		三重大学医学部附属病院
		旭川厚生病院
		岩手医科大学附属病院
		栃木県立がんセンター
		茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター
		聖マリアンナ医科大学病院
		京都第一赤十字病院
		関西医科大学附属 枚方病院
		大阪市立大学医学部附属病院
		岡山大学病院
		琉球大学医学部附属病院
		手稲溪仁会病院
		防衛医科大学校病院
		癌研有明病院
		静岡がんセンター
		愛知県がんセンター 中央病院
		金沢大学医学部附属病院
奈良県立医科大学附属病院		
四国がんセンター		
高知医療センター		
福岡大学病院		
敬愛会 中頭病院		
14	骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法(類骨腫(診断の確実なものに限る。))に係るものに限る。)	群馬大学医学部附属病院
		大阪大学医学部附属病院
		栃木県立がんセンター
		茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター
		聖マリアンナ医科大学病院
		京都第一赤十字病院
		関西医科大学附属枚方病院
		大阪市立大学医学部附属病院
		岡山大学病院
		琉球大学医学部附属病院
15	下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法(一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。)	高知大学医学部附属病院
		社団三記東鳳 新東京病院

16	胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術 (特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症(NIHF)例であって、胸腔穿刺後一週間以降に胸水の再貯留が認められるもの(妊娠二十週から三十四週未満に限る。)に係るものに限る。)	国立成育医療センター
		筑波大学附属病院
		神奈川県立こども医療センター
		国立循環器病センター
		聖隷浜松病院
		山口大学医学部附属病院
		長良医療センター
17	早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検査	慶應義塾大学病院
		三重大学医学部附属病院
		福島県立医科大学附属病院
		石川県立中央病院
		岩手医科大学附属病院
		鹿児島大学病院
		金沢大学附属病院
		埼玉社会保険病院
		千葉大学医学部附属病院
		東海大学医学部附属病院
		東京医科大学病院
防衛医科大学校病院		
18	副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法(二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。)	昭和大学病院
		昭和大学病院横浜市北部病院
19	腹腔鏡補助下肝切除術(部分切除及び外側区域切除を除く。)	岩手医科大学附属病院
20	内視鏡下手術用ロボット支援による根治的前立腺前摘除術(前立腺がんに係るものに限る。)	東京医科大学病院
		金沢大学附属病院
		九州大学病院